

第2次小樽市都市計画マスタープラン

第2回策定委員会会議資料

～おたる子ども会議グループワーク内容（まとめ）～

◆おたる子ども会議

- ・日時：平成29年7月15日 14：00～16：30
- ・会場：国立大学法人小樽商科大学
- ・参加：小樽市内中学校(12校)から24名

- ・目的：第7次総合計画を策定する過程において、未来を担う世代の意見・意向を把握するため
- ・実施方法：『小樽の良いところ、好きなところ』、『10年後、こんなまちになってほしい』をテーマに、これからの小樽について意見交換を実施

テーマ① 小樽の良いところ、好きなところ	テーマ② 10年後、こんなまちになってほしい
<p>1. 公園や緑地等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園が多く充実しているところ。 <p>2. 生活環境について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活に便利なコンビニが充実しているところ。 ・病院が多くて安心なところ。 <p>3. 街並み・景観について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まち自体に歴史があり、歴史的な建造物が多く保存されているところ。 ・緑が多く、空気や水が美味しいところ。 ・坂を登りきることで健康にもつながり、坂の上から見る景色がきれいなところ。 <p>4. 都市防災について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害が少ないところ。 <p>5. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建造物や工芸品など、昔のものがたくさん残っており、観光名所もたくさんある。 ・自然豊かで、夏は海水浴、冬はスキーと、どのシーズンも楽しむことができる。 ・地域活動、ボランティア活動が盛んに行われているところ。 	<p>1. 住みやすいまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの年代の人も暮らしやすいまち。 ・新幹線の駅と小樽駅の間に新しい交通機関をつくる等、新しい働ける場所のあるまち。 ・子供たちが遊べる場所を増やしてほしい。 ・大学や専門学校を増やし、企業を誘致して働く人を増やす。小樽で学び、小樽でその技術を生かすことが大事。 ・ユニバーサルデザイン等を増やして、高齢者や障害を持ってしまった方などが暮らしやすいまちになってほしい。 ・スポーツのできる場所を増やしてほしい。 ・街なかに公園を増やしてほしい。 <p>2. 活気あふれるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小樽駅や大型商業施設を拡大し、娯楽施設も充実させ若者も住みやすいまちになってほしい。 ・昔からの街並みをそのままにし、今までの風景を残したまちであってほしい。 ・保育園などの育児施設を充実させ、子供が増えてにぎやかなまちになってほしい。 ・歴史的建造物を生かしたお店を作ったくさんの人を呼びたい。 ・商店街等でおしゃれにアレンジ（閉じたシャッターに絵）などして写真スポットを多く作る。

※この資料は、第7次総合計画の策定過程で開催された「おたる子ども会議」において、市内中学生が今の小樽と将来像について意見交換した内容を抜粋したものである。